

授業科目名：保育内容の指導法「音楽表現」	教員の免許状取得のための必修科目	単位数：2単位	さかたえいこ 担当教員名：坂田映子
			担当形態 単独
実務内容（実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、領域(音楽表現)における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報通信技術及び教材の活用を含む。）		
「学位授与の方針」との関係			
星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。			
A.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
B.問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
C.共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
D.多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。			
E.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
F.共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
1 「幼稚園教育要領」の性格及び位置づけ、並びに教育課程編成の目的、表現のねらい、幼児の豊かな感性と表現、内容全般について理解する。			
2 10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と音楽的能力を育む音楽指導法について理解する。			
3 幼児の音楽表現を育む音遊びの環境構成について理解する。			
4 モデル指導案を活用し、指導計画作成の仕方を理解する。			
授業の概要			
幼稚園の音楽表現を指導するうえで必要な「幼稚園教育要領」の性格及び位置づけ、並びに教育課程編成の目的を理解する。また、表現のねらい、内容、指導計画作成の仕方について理解し、音楽に親しみ、歌を歌ったり簡単なリズム楽器を使ったりなど、様々な音楽表現活動ができるようにする。具体的には、弾き歌いや音遊び、パネルシアター等の実際から、指導法を身に付ける。			

授業計画

- 第1回:「幼稚園教育要領」の性格及び位置づけ、教育課程編成の目的について理解する。
- 第2回:1ねらい及び2内容、内容の取扱い並びに豊かな感性について理解する。
- 第3回:10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解する。
- 第4回:「ダルクローズ」・「オルフ」等の音楽教育指導法及び「音楽づくり」の指導法を理解し、その教育法についてレポートを作成・提出する。
- 第5回:音符、休符、記号、音楽構造について理解する。
- 第6回:コードネーム及び簡易伴奏を身に付ける。
- 第7回:子どものうたを身体表現しながら歌う。
- 第8回:歌詞の意味を理解し、表情豊かに歌う。
(例:もりのくまさん・やぎさんゆうびん、トンボのめがね等)
- 第9回:リズム楽器等の特徴や演奏の仕方を身に付ける。
- 第10回:幼児の発達に合わせた「基本のリズム・模倣・カノン・ロンド」等の理解とリズムアンサンブルをする。
- 第11回:音遊びなどの音楽づくりの指導法を理解する。
- 第12回:総合的音楽表現「パネルシアター」の視聴と指導法を理解する〔情報通信技術の活用を含む〕。
- 第13回:音楽表現の指導計画作成の仕方について理解する。
- 第14回:モデル指導案を活用し、省察する。
- 第15回:全体の振り返りとまとめ。

定期試験

*スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

スクーリングでの学修内容

幼稚園教育要領の目標を理解し、音楽表現のねらい、内容、指導計画作成の仕方を学び、歌や器楽、音遊びを通した多様な音楽表現活動があることを理解し実践的な指導力を修得する。

教科書

- (1)『幼稚園教育要領(平成29年3月告示)』文部科学省
- (2)『幼稚園教育要領解説』文部科学省 2018年2月
- (3)『最新・幼児の音楽教育 幼児教育・保育士養成のための音楽的表現の指導』朝日出版 2018年

参考文献

- (1)改訂『うたっておどって おもちゃ箱1』鈴木恵津子編 教育芸術社 2016年
ISBN97804-87788-613-4
- (2)『改訂 ポケットいっぱいのおうた』教育芸術社 2012年

学生に対する評価

レポート評価(25%)、スクーリング評価(25%)、科目修得試験(50%)の割合で総合して評価する。